

● GPN セミナー ●

# 共同調達によるグリーン購入・電力の環境配慮契約 飛躍の可能性を探る

物品やサービスを他団体と共同で調達する「共同調達」は、近年、民間企業や国立大学や独立行政法人等でも導入されています。一般的には、共同調達を行うことで調達の規模が大きくなる結果、スケールメリットが働き、調達物品・サービスの購入単価が下がることや、調達先に対して価格交渉力が上がること、購入事務の集約化による事務コストの省力化・事務の効率化などの効果が期待できる仕組みです。

地方自治体でも、自治体情報システムの標準化・共通化を推進する観点からも、パソコンやプリンタ等の ICT 機器や情報システムの共同調達を実施している例が見られます。

このセミナーでは、物品購入や電力契約を共同調達する事例を通じ、共同調達の仕組みや共同調達に適した品目とは何か、環境基準を盛り込んだ共同調達の実現可能性を学ぶ機会とします。

## プログラム

15:00	開会	
15:15～	地方自治体における共同調達の可能性 グリーン購入ネットワーク	令和元年度に、特別区長会調査研究機構が実施した「共同調達」に関するアンケート調査結果とともに、共同調達の全体像を解説する。
15:45～	ICT 機器の共同調達事例 神奈川県町村情報システム 共同事業組合	神奈川県内の 14 町村が参加する神奈川県町村情報システム共同事業組合による、ICT 機器（パソコン・プリンタ）の共同調達の取り組み
16:05～	電力（低圧・高圧）の共同調達事例 九州大学	九州大学が、九州地区の 10 大学、8 高専と共同で一緒に電力の共同調達を実施した取り組み（第 20 回グリーン購入大賞 大賞・環境大臣賞）
16:30～	質疑応答	
16:50～	グリーン購入法 2022 年度改定内容の解説	
17:00	閉会	

## 開催概要

日時：2022 年 3 月 11 日(金)15:00～17:00

対象：グリーン購入ネットワーク会員（地方自治体・企業の環境、CSR、調達担当者）

方法：ZOOM ウェビナーによるオンラインセミナー

主催：グリーン購入ネットワーク（GPN）

定員：100 名

参加費：無料

参加申込：GPN メルマガに記載のある Zoom URL からお申し込みください。

●問い合わせ先●グリーン購入ネットワーク（GPN） 担当：武井・竹内・深津